

▶ 罪の定義：ヨハネの手紙一 3：4

罪を犯す者は皆、法にも背くのです。罪とは、法に背くことです。

→回復訳：すべて罪を犯す者は、また不法を行ないます。罪は不法（＝法に背くこと）です。

回復訳解説：罪を犯すとは、①罪の中に生きること※1（ローマ6：2）、

②人を支配している神の原則のもとにいない生活を送ることです。

→口語訳：すべて罪を犯す者は、不法を行う者である。罪は不法である。

→聖書協会共同訳：罪を犯す者は皆、不法を行っていません。罪とは不法のことです。

→NKJV：Whoever commits sin also commits lawlessness, and sin is lawlessness.

→違法[非合法]、無法な[法律がない]こと

→N I V：Everyone who sins breaks the law; in fact, sin is lawlessness.

→K J V：Whosoever committeth sin transgresseth also the law: for sin is the transgression of the law.

→違反、罪 sin

信仰による義認 justification by faith とは、悔い改めて罪を告白し、罪が赦され、罪がないとされること、汚れた恥ずべき不義をキリストに取り除いて負っていただくことです。

この不義を義に取り替えるのを可能にしたのが、キリストの贖いによる十字架の血です。聖書には、「彼らは大きな苦難を通して来た者で、その衣を小羊の血で洗って白くしたのである」(黙示録 7:14b)と記されています。

信仰による(キリストの)義 righteousness of Christ by faith とは、赦された罪人がキリストの義で覆われて、義とされること、取り除かれた不義の代わりに与えられるキリストの義を受け入れることです。どちらも人間の功績によるものではなく、キリストが十字架で払われた贖いを信じる信仰によってのみ与えられる無償の賜物です。


私たちが信仰による義認と信仰による(キリストの)義の賜物を受け入れた結果、罪深い品性が徐々にキリストに似た品性へと変えられていき、律法への完全な従順であるキリストの義が、信仰の実として、日々反映されていきます。この信仰による義認から信仰による(キリストの)義への漸進的な過程(経験)が、**聖化**(清め) sanctification です。

そして、この聖化の過程は生きている限り続き、再臨まで生き残る人の場合は、この聖化の過程は恩恵期間が終了するまで続きます。

十字架の贖いによって罪が赦され、義を受け入れた者たちは、常に自分の意志を主に委ねながら維持していく必要があります。何故ならば、罪を犯す度に、私たちの衣は汚れてしまい、義の状態を失ってしまうからです。

しかし、私たちが罪を告白して、真に悔い改める時、主は私たちの罪を赦して取り除いてくださり、再びキリストの義をお与えになられます。

私たちは、私たちの罪を忍耐強く赦して下さる主の愛と憐みに、心から感謝しなければなりません。その結果、神との生きた関係が持続され、イエス・キリストの義が日々の生活の中で正しい行為となって、実際に現れて来るのです。これが、「**キリストの義を着る**」ということです。

 これはあくまでも参考ですが、「義認」と訳される箇所を、「赦し」「赦される」に置き換えてみると、「義」との違いがより明確になると思います。

→マタイによる福音書 12 : 37、ルカによる福音書 18 : 14、使徒言行録 13 : 38、39、ローマの信徒への手紙 2 : 13、3 : 20、24、28、30、4 : 2、24、25、5 : 1、9、8 : 30、コリント信徒への手紙 I 4 : 4、6 : 11、ガラテヤの信徒への手紙 2 : 16、17、3 : 8、11、5 : 4、テモテへの手紙 I 3 : 16、テトスへの手紙 3 : 7、ヤコブの手紙 2 : 21、23、24、25 の 28 聖句。